

事務事業評価の評価結果について（平成28年度の事業に対する評価）

会計管理室

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
会計管理室	会計管理事務事業	債権者等に対して、支出等の執行手続きを円滑に進めるため、審査・出納事務をより一層適正かつ効率的に執行します。	会計事務の一層の適正化・効率化	適正な会計事務に基づき、債権者へ迅速な支払を行います。			会計事務の一層の適正化、効率化を図ります。	津市指定金融機関等に対して銀行検査を実施し、公金収納事務の状況について不備な取扱いがないかを検証しました。その結果、適正に処理されていることを確認できました。	4	<p>適正な会計事務の執行を確保するため、各所属の出納審査事務について内部検査を実施したほか、会計事務の手引の見直し及び審査事務マニュアルの整備を進め、全庁的な会計事務の正確性の向上を目指し、事務説明会を実施し、指導の機会を拡大しました。</p> <p>収支計画については、年間計画及び毎月収支計画を報告してもらうことにより、資金計画の精度を高め、資金のより効果的な運用に努めることができました。</p> <p>振込・口座振替データについて、電話回線を利用した伝送化を導入したことにより、速達性や安全性を高めることができました。</p> <p>また、津市指定金融機関等に対して銀行検査を実施し、公金収納事務の状況について不備な取扱いがないかを検証しました。その結果、適正に処理されていることを確認できました。</p>	拡充・充実	職員の負担軽減及び会計事務の効率化並びに会計事務全般における適正な管理及び執行を図る観点から、歳入における調定事務全般について電子決裁システムの導入に当たり平成30年1月運用開始に向けて準備を進めていきます。